

資格認定委員会より

1. 認定委員会について

平成28年度の2回目の委員会が6月18日に開催されました。この委員会での審査の結果、合格は842件、不合格は11件、保留は19件となりました。この結果を受け6月30日時点での今年度の初回審査件数は1,407件、総審査件数は1,438件、合格件数は1,357件、取得者は940件となりました。この時点での取得者合計は50,199名で、5万名を超えました。今後の認定委員会の開催予定日は8月27日(土)、10月15日(土)です。

2. 認定心理士(心理調査)について

認定心理士(心理調査)についての全体説明会を平成28年3月22日に行い、4月から大学のカリキュラム申請の受け付けを開始しました。この件に関しさまざまなお問い合わせが事務局に寄せられました。お問い合わせの中から懸念されるいくつかの点をお知らせしたいと思います。

認定心理士(心理調査)は認定心理士資格を取得したうえで申請できる資格ですので、まずは認定

心理士の要件を満たす必要があります。現在は新規卒業者の認定心理士と認定心理士(心理調査)同時申請のみ受け付けています。

さて、今現在オープンしている認定心理士(心理調査)のカリキュラム認定システムでは、対象となる申請者が、申請に使用する可能性のある科目(認定心理士と認定心理士(心理調査))を全て登録する必要があります。この点に関し、大学によって、認定心理士(心理調査)に必要な平成28年度の科目だけを登録するように対応している向きもあるようですがそれでは不十分となります。例えば、平成28年度卒業生が申請者となるとしますと、今年度の科目の申請ばかりではなく、1年次から3年次までで申請者が申請に使用する可能性のある科目全ての登録の必要があるということになります。くどいようですが、平成28年度の卒業生で考えれば、1年次から4年次までに開講されたコマで、申請に使う可能性のあるものは全て登録するということです。

なお、引き続き、認定心理士(心理調査)資格申請希望の大学は窓口担当者の連絡先をjpanchosa@psych.or.jpまでお知らせください。

3. 「認定心理士の会」について

平成28年5月22日に「認定心理士の会キックオフ! シンポジウム」を開催し、その後、会のニューズレターが刊行されました。設立からの経緯に関しては本誌「認定心理士の会から」の欄で詳細に報告されています。設立からの短い期間に活発な活動が展開されてきました。これも幹事会メンバーの奮闘のおかげです。その結果、現在「認定心理士の会」の会員数は2,315名と2千名を超えました。会の立ち上げが4月ですので、この会員数は、認定心理士の方々の潜在的な活動意欲の高さの表れと思われまじ、会への期待の高さの表れであるとも思われます。

なお、入会希望の方はjpaninteinokai@psych.or.jpまでお知らせください。また、今年度も認定心理士向けのシンポジウムをいくつか企画しております。こちらへの参加もよろしく願いいたします。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

編集後記

神経科学と心理学との関係が表層的にならないよう、四つの話題を取り上げてみました。どの記事も充実した内容で、神経科学に関わる読者には新たな視点を得るきっかけに、その他の読者には神経科学に触れるきっかけになったのではないのでしょうか。執筆者の皆様には、原稿の締め切りが、大学の前期末や夏の学会シーズンと重なるなど、お忙しいところ、読み応えのある記事をお書きくださいますと本当に感謝いたします。(脇田真清)

編集委員(五十音順)

編集委員長  
副委員長  
委員

川口 潤	名古屋大学
大久保街 亜	専修大学
岩壁 茂	お茶の水女子大学
漆原 宏次	北海道医療大学
柏崎 秀子	実践女子大学
河原純一郎	北海道大学
小森 政嗣	大阪電気通信大学
下津 咲絵	京都女子大学
旦 直子	帝京科学大学
手塚 洋介	大阪体育大学
樋口 匡貴	上智大学
脇田 真清	京都大学霊長類研究所
宮谷 真人	広島大学

担当常務理事

心理学ワールド [75号] 2016年10月15日発行

年4回発行(1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—長谷川 壽一

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷

制作—(株)新曜社